

昭和

議会だより

第

52

号

平成21年10月25日 9月定例会

＜群馬県昭和村議会＞



4・5 9月定例会で決めたこと

2・3 平成20年度決算認定

8・9 村の姿勢を問う

13 追跡シリーズ9 あの問題は今

一般会計

歳入
総額

38億1,955万7千円

(前年度比3.1%増)

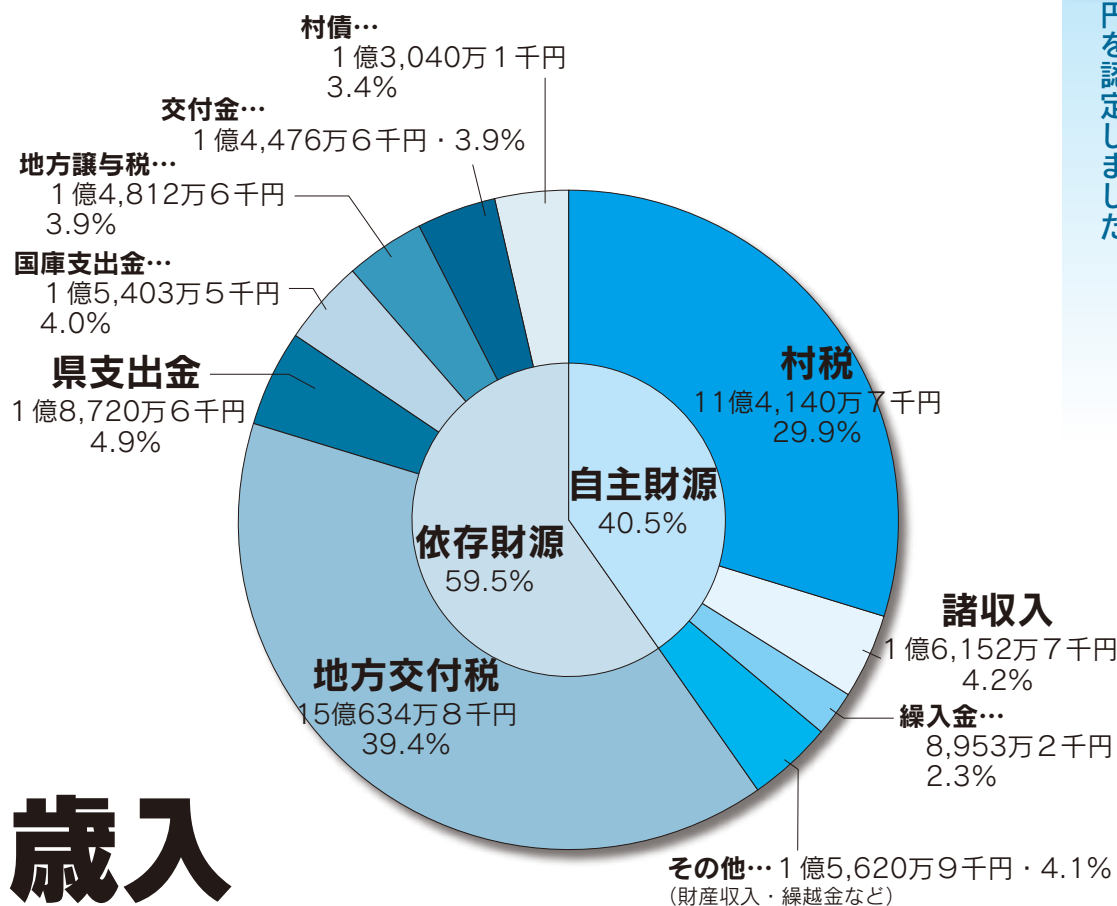
歳出
総額

35億7,415万9千円

(前年度比2.2%増)

昭和村 決算

平成20年度昭和村一般会計及び特別会計決算認定について審議を行い、歳入総額59億8,206万3千円、歳出総額56億6,686万8千円を認定しました。



歳入



代表監査委員 松井源之助氏
監査委員 金井 正夫氏

審査に付された平成20年度昭和村一般会計及び各特別会計の歳入・歳出決算書、主要施策の実績報告書、関係帳簿、証書類は法令に準拠して作成されており、各会計とも歳入・歳出決算の計数は、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、適正と認めました。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数も、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、適正と認めました。

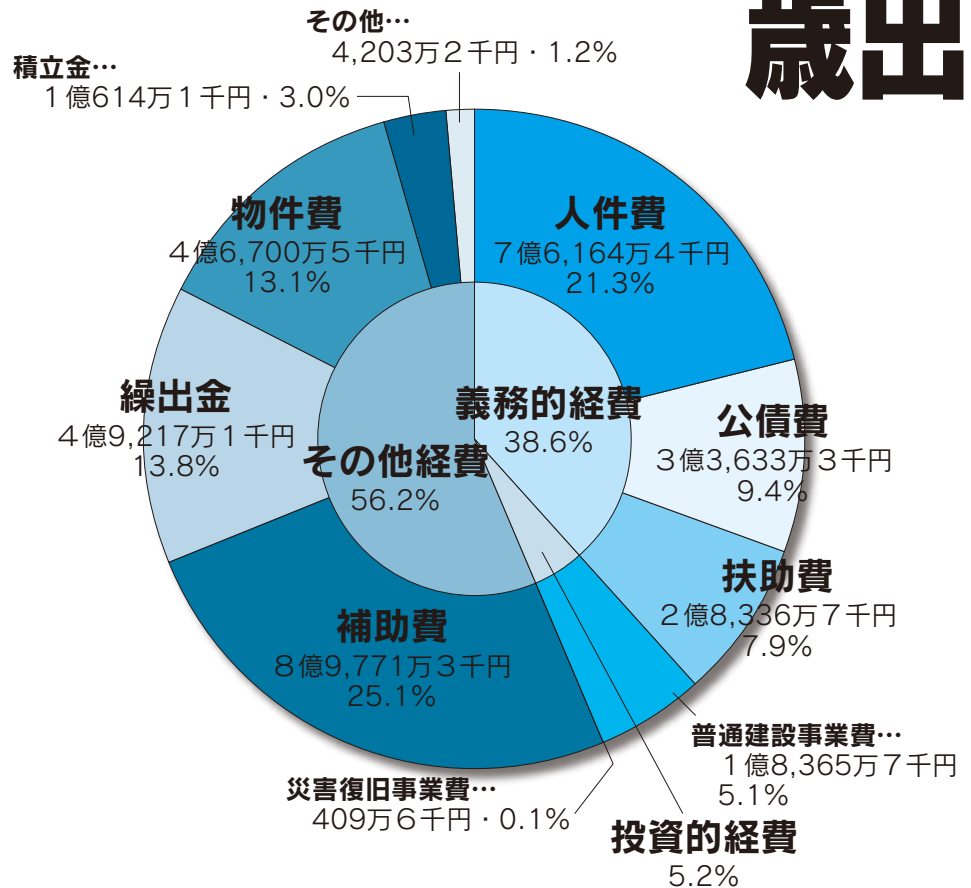
審査結果の総括的意見

8月19日から21日までの3日間、決算審査を行いました。

歳出

昭和村の一般会計及び特別会計は、すべての会計で単年度収支は黒字となり、適正な財政運営がなされているものであり、一般会計では自主財源比率が40・5%と初めて40%になりました。

昭和村の財政もよい方向に向いておりますが、権が変わり先が見えない部分もありますので、なお一層の努力を引き続き行い、財政の健全化に努めなければなりません。



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入総額 10億2,457万1千円

歳出総額 10億1,948万5千円

老人保健特別会計

歳入総額 1億1,715万8千円

歳出総額 1億1,009万1千円

簡易水道事業特別会計

歳入総額 1億2,203万2千円

歳出総額 1億429万3千円

農業集落排水事業特別会計

歳入総額 3億1,136万9千円

歳出総額 2億9,212万7千円

介護保険特別会計

歳入総額 5億2,246万1千円

歳出総額 5億253万2千円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 6,491万5千円

歳出総額 6,418万1千円

財政運営の状況

	18年度	19年度	20年度
財政力指数 地方公共団体の財政力を示す指数 1を超えると普通交付税が交付されない	0.354	0.367	0.400
経常収支比率 財政構造の弾力性を判断するための指数 経常的支出に対し経常的収入財源が充てられている割合を示したもの	97.6	89.0	86.8
公債費比率 公債費に充てられる一般財源の額の標準財政規模に占める割合 10%を超えないことが望ましいとされる	10.7	7.9	6.9
実質公債費比率 (債務負担行為含む) 標準的な収入(標準財政規模)に占める実質的な公債費(借金返済額)の割合で低いほどよい	19.1	17.5	15.7

9月定例会は、9月8日(火)から15日(火)までの8日間の会期で開催されました。

21年度補正予算を含む議案10件、承認・報告各1件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。また、平成20年度昭和村一般会計及び特別会計7件の決算認定について審議を行い、各会計とも提出された決算書のとおり認定しました。

最終日の一般質問では2名が登壇し、村の姿勢を問いました。

「定例会」

9月定例会

これからの新たな情報化時代に備えて、

村内一円に

「光ファイバーケーブル」を整備

条例一部改正

国民健康保険条例の改正

被保険者又は被保険者であつた者が、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産したときに支給する出産育児一時金について、37万円から41万円とするもの。(全員賛成)

専決処分

一般会計補正予算(第2号)

831万4千円追加

総額

36億3,378万9千円

総合福祉センターのポンプ交換や制御装置等の修理、昭和中学校柔道部の関東・全国大会出場に伴う選手派遣補助金など。(全員賛成)

補正予算

一般会計(第3号)

3億4,250万6千円追加

総額

39億7,629万5千円

補正の主な内容

歳入

○地方特例交付金

1,638万6千円

○地方交付税

2億6,900万1千円

○国庫支出金

2億7,051万4千円

○県支出金

2,381万円

○繰入金(減額)

2億3,720万5千円

歳出

○光ファイバーケーブルの整備費

2億4,600万円

○子育て応援特別手当支給事業

864万6千円

○小規模な道路・側溝整備工事費(8か所)

1,951万円

○ぐんまのこんにやくWTO緊急対策事業補助金

1,500万円(全員賛成)



ぐんまのこんにやく WTO 緊急対策事業で導入される農機具

国民健康保険特別会計(第1号)

総額

145万円減額

9億9,961万円
後期高齢者支援金及び老人保健医療費拠出金等の増加及び介護納付金の減額によるもの。
(全員賛成)

介護保険特別会計(第1号)

総額

986万3千円追加

5億4,521万8千円
国及び社会保険診療報酬支払基金への償還金、また負担金等によるもの。
(全員賛成)

後期高齢者医療特別会計(第1号)

総額

73万3千円追加

7,296万1千円
広域連合事務費負担金等によるもの。
(全員賛成)

農業集落排水事業特別会計(第1号)

総額

200万円追加

3億3,792万9千円

ばっ気かくはん装置2基をオーバーホールするため。
(全員賛成)

報告

健全化判断比率等の報告

地方公共団体財政健全化法に基づき報告するものであり、一般会計の実質公債費比率15・7%、将来負担比率26・2%で早期健全化基準を下回っている状況。また、簡易水道事業・農業集落排水事業特別会計に於いての資金不足比率については、いずれも黒字であり該当しないとの報告を受けました。

その他

平成20年度地方道路整備臨時交付金事業村道森下赤城原線道路改良工事請負契約の変更

望郷ラインとの交差点に信号機が設置される予定となつたため、その稼働に併せ区画線を設置するため工期を変更するもの。
(全員賛成)

利根沼田広域市町村圏振興整備組合において共同処理する事務の変更及び同組合の規約変更に関する協議

農業共済事務が県下一組合として新たに設立予定のため共同処理事務の変更等について協議するもの。
(全員賛成)

利根沼田広域市町村圏振興整備組合において共同処理する事務の廃止に伴う財産処分に関する協議

農業共済事業に関する事務を廃止することに伴う財産処分の協議を行うもの。
(全員賛成)

群馬県市町村会館管理組合の規約変更に関する協議

富士見村が前橋市に編入及び吉井町が高崎市に編入されたことにより組合を脱退したため規約を変更するもの。
(全員賛成)

議会の動き

7月

- 23日 ●茨城県城里町議会運営委員会視察研修
- 27日 ●総合運動公園下草刈り
●広域圏組合議会定例会

8月

- 8日～9日 ●取手市及び横浜市視察研修
- 12日 ●利根沼田学校組合議員協議会
●利根沼田学校組合議会定例会
- 24日 ●定例議長会
●利根地方総合開発協会理事会

9月

- 1日 ●議会運営委員会

- 8日 ●第15回昭和村議会定例会
●本会議
- 8・9日 ●議会全員協議会
- 9日 ●議会広報編集特別委員会
- 10日 ●総務民生常任委員会
- 11日 ●文教産建常任委員会
- 13日 ●東小学校・南小学校・大河原小学校運動会
- 15日 ●本会議(最終日)
- 18日 ●議会広報編集特別委員会
- 19日 ●昭和中学校運動会
- 26日 ●第一保育園・第二保育園・子育て保育園運動会
- 27日 ●第42回村民運動会
- 29日 ●利根地方総合開発協会県へ陳情
- 30日 ●福島県平田村議会行政視察研修

10月

- 4日 ●第12回昭和の秋まつり
- 12日 ●昭和村消防団秋季点検
- 13日 ●広域圏議員協議会
●第30回村民チャリティーゴルフ大会
- 14日 ●議会広報編集特別委員会
- 14日～16日 ●利根郡町村議会議長会行政視察研修
- 16日 ●議会広報編集特別委員会
- 18日 ●第15回チャリティー舞踊発表会
- 22日 ●JA利根沼田国際農業交流協議会昭和支部15周年記念式典
- 23日 ●大河原小学校創立50周年記念式典

保育園等村内福祉施設の調査を行う

総務民生常任委員会

9月10日に行われた総務民生常任委員会では、村内に設置してある福祉施設の調査を行いました。

知的障害者通所授産施設星夜の森学舎では農作業や和紙づくり、外注作業（ホッチ



子育て保育園施設調査

キス針の箱詰め）などが行われており、働くことを通じて人間形成を図り自立できるよう支援していくことが目的の施設です。くりのみ学園も同様な目的で野菜栽培や資源ごみの選別によるリサイクル作業及び、生ごみ処理のEM菌づくりや外注作業などを行っています。たけのこ学園は知的障害者更生施設（入所）で自立のための援助活動として陶芸や貼り絵、農作業などを行っていました。また、施設の老朽化により汚れがひどく改装を考えているとのことでした。



たけのこ学園 堤園長より説明を受ける

子育て保育園の施設調査では、施設がまだ新しく特に問題はなく、防犯対策もしっかりしていました。次に、平成20年度各会計についての決算質疑や当委員会の所管事項等について意見交換が行われました。

みなさんからの請願・陳情

自 平成21年7月2日 至 平成21年8月28日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
49	H21. 7. 2	陳情書 村道塔の前6号線舗装工事のお願いについて	三ツ谷区長 星野種次郎	金井正夫 真下明雄	文教 産建	採択
50	H21. 8. 19	国民の「安心・安全」を切り捨てる「地方分権」「道州制」をやめ、関東地方整備局の事務所・出張所の存続を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合 関東地方本部群馬県協議会 議長 山口勝巳		配布 のみ	
51	H21. 8. 25	昭和村内のアカシア林保護に関する請願書	昭和村養蜂の会 会長 加藤康雄	高橋幸一郎 倉澤俊雄	文教 産建	趣旨 採択
52	H21. 8. 28	生越地区内、村道の側溝改良整備を求める陳情書	生越区長 熊谷英一ほか	林 幸司 横坂先夫	文教 産建	継続 審査

村道塔の前6号線舗装工事は採択に

文教産建常任委員会

9月11日に行われた文教産建常任委員会では、付託された陳情・請願等について

では現地精査をし、その後審査を行いました。初めに村道塔の前6号線

舗装工事に

ついての陳情では、付近において新築住宅が増えていることや、通

学道路としても利用されておられ、これらを考慮し全会一致採択といたしました。

次に村内のアカシア林保護に関する請願については、養蜂業者に

とってアカシア林は重要な密源であり、また標高差により開花時期が異なり、長い期間蜜が採取できる等養蜂業者にとってアカシア林の重要性は理解できました。しかし、アカシア林の多くは民有林であり、樹木としての利用価値の少ない物であり、様々な事を考慮し、全会一致趣旨採択といたしました。

次に生越地区内、村道の側溝改良整備を求める陳情については、側溝の強度、緊急車両通行のための幅員等について検討したところ、どのように整備したらより効果的に実施できるか判断するため、もう少し時間が必要であるとの意見から、全会一致継続審査といたしました。

けん案事項の調査では、有害鳥獣による農作物の被害状況や有害鳥獣捕獲ワナの設置状況の調査、その他

望郷ライン沿線の保安林改良について、村道古宮追分線と望郷ラインの交差点付

近における支障木の伐採について現地調査を行いました。

次に、平成20年度各会計決算質疑や当委員会の所管事項について意見交換が行われました。



村道塔の前6号線現地調査



桜地内、有害鳥獣による農作物被害状況調査

一般質問

村民の意見・提言を直接聞ける「意見箱」の設置を

村長 建設的な意見は貴重な財産である。
意見箱設置について検討していきたい。



高橋幸一郎 議員

問

村民の要望や村政に対する意見、社会事情の収集は村政を行う上で大変重要なことと思う。本当に昭和村のことを考えた意見・

公聴活動は重要、かつ、欠かせないことと思っている。これらに効果のある意見箱設置を検討していきたい。

提言は何ものにも

変えがたいものである。「対話の村政」により村民と創る温もりと優しさのある昭和村実現を目指し「意見箱」の設置を求める。

答 村長

皆さんから寄せられる建設的な意見は貴重な財産である。公平・公正で開かれた村政を推進するためにも



国保滞納と生活保護、

離婚率増加の対策は

問

経済と雇用情勢が厳しさを増す中、国保税滞納状況は過去10年間で約4倍となり、

平成21年度829人3、610万円となりました。また生活保護も1、740万円と過去最高と

答 村長

これからも滞納世帯の増加が懸念されるが、徴収率の向上に向け更なる努力をしていきたい。また人口増のために子育て

なり、離婚率についても38市町村中11位と上位にあります。滞納状況の改善と貧困の連鎖防止及び人口減少等について具体的な諸施策を問う。

中田横浜市長辞任による今後の対応は

問

議員交流、職員交流、横浜開港記念イベント等多くの交流活動がようやく始まり、これからやっと大人同士の付き合いがスタートした矢先の辞任は、昭和村にとって大きな影響があると思う。今後の対応を問う。

答 村長

横浜市との関係は密接不離な間となっており、これからも赤城林間学園の利用促進や災害時相互

答 教育長

支援の充実と定住化促進のため魅力ある村づくりをしていきたい。

経済格差が学力・学歴格差に結びつき所得格差に反映される貧困の連鎖が起らないようしっかりとした学力をつけ、社会に出た時自立でき、たくましく生きていける力を育成していきたい。

応援協定に基づく相互理解が図れるよう一般住民も巻き込んだ交流関係に発展させていきたい。そのためにも林新市長への表敬訪問はもちろんのこと、来村を願い、お互いの意見の意思疎通を図りたい。

姿勢問

総選挙結果を歓迎し、 村民の立場で新政権への対応を

村長 日米FTA大反対など、
新政権には是々非々の立場で



林 幸司 議員

問

自公の悪政に厳しい審判が下された

総選挙結果を歓迎したい。

3党連立政権合意政策の8割方は、日本共産党と同じ歓迎すべき政策ですが、合意されなかった日米FTA等々や、新政権への対応を伺いたい。

答 村長

自公大敗は、自民党政治への不満が、民主党への期待となった結果です。

民主党の公約、日米FTA締結は、日本の農業はもとより、本村にとつても大打撃になり大反対。

高速無料化も、これまでの借金返済や、高速を使わない納税者にも負担が強いられるなど大きな問題になると思う。

子ども手当は賛成ですが、扶養控除削減は別。

比例定数削減についても少数意見が反映されなくなると危惧しています。

新政権の政策をよく検討し、是々非々の立場で取り組んでいきたい。

幼児教育と高校授業料の無償化について

問

授業料が払えず高校中退者が激増、

世界一高い学費が教育差別を引き起こしています。

先進30カ国で、授業料を取っている国は4カ国だけ、学費の段階的無償化を定めた国際規約を批准していないのは、世界中で、日本など2カ国しかなく、日本は異常です。

答 教育長

日本の教育費は、国際的に比較して、公費負担が少ない反面、家庭の負担が大きく、少子化の要

因となっています。

幼児教育無償化

は、世界のすつせい、日本でも喫緊の課題となっています。

多くの欧米諸国が高校の授業料は無償です。

日本でも、高校進学率98%にかんがみ、家庭の経済的状況にかかわらず、教育の機会を保障することは極めて大切であり、教育費負担の軽減や支援拡充を新政権に期待しています。

日米核密約と核兵器廃絶について

問

「核の傘」論から米軍基地等に核兵器配備を容認してきた日米核密約は廃棄すべきです。

オバマ大統領の核廃絶表明など、世界も核廃絶へ大きく前進している時だからこそ、核廃絶宣言自治体として、具体的な

答 村長

平成2年に「核兵器廃絶昭和村宣言」を行っており、周知看板設置や宣言の例規集掲載を、前向きに検討したい。非核宣

言自治体協議会加入も、県下6市町が加入しており、検討していきたい。

私も「非核三原則」堅持の立場であり、核兵器を廃絶し、平和を恒久的なものとしていくことが、我々に課せられた責務であると思っています。



幼児教育無償化が期待される第一保育園の卒園式

議会改革や少子化対策など先進地の行政視察を行う(北海道3町・1JA)

道の駅おとふけ視察

自慢の特産加工品

日本の食糧基地として知られている十勝平野の真ん中にある音更町は肥沃な土地と、年間を通して晴天日数が多く、昼夜の大きな寒暖差を利用した農業を中心に大規模経営が行われている町です。

視察先の道の駅は平成3年8月にオープンした「音更町特産センター」が前進です。「道の駅」は道路利用者に快適な休憩場所や、その地域に関する情報を提供する施設として建設省が提唱し、各自治体の申請により施設の登録が進められていました。当時道の駅は道内で16か所、十勝管内でも2か所登録されている状況で、近くにありませんでした。道の駅として同様な機能、サービス等を提供しており、ほぼ登録の施設要件を満たしていることから、平成7年5月登録する方向で検討に入り、平成8年4月に道内31番目の「道の駅」として登録され、再出

発し現在に至っています。店内の商品は、ほとんどが加工製品であり、例えばじゃがいもは、ポテトチップに加工袋詰め、豆類などは、味噌、醤油、煮豆などに加工、野菜は粉末スープに加工するなど付加価値を付けて販売しており、さすがに北海道の大産地の強みを活かした品ぞろいであり今後の参考となる視察でした。



議会改革で町民に親しまれる議会へ

しろおい 白老町議会視察

白老とは、アイヌ語で「シラウオイ」から転訛したもので、蛇の多い処という意味だそうです。北海道の南西部の人口2万人強の白老町で議会改革の研修を岐阜県多治見市、香川県観音寺町と昭和村の3市町村合同での研修が白老町社会福祉センターで議長、議会運営委員長より説明を受けた後質疑応答の形で行われました。平成20年より通年議会の開始、各委員会の地域別開催(移動常任委員会)、議員の出前トーク、休日や夜間議会を開催する等数多くの新しいことに挑戦し、開かれた議会、町民に親しまれる議会を目指し、議会改革を進めております。これらの取組は全国でも少なく、議会改革の先進地として頑張っている町であります。



なんぼろ

南幌町行政視察

少子化対策として「子育て支援米」を支給

南幌町は、札幌市から東へ約25kmの通勤圏に位置

し人口9,300人余りの豊かな自然環境と田園風景の美しい町です。この農業は農地面積5,570㌥、内水田5,316㌥、畑253㌥、採草地1㌥となっており、1戸当たりの平均経営面積は26・4㌥と多く、稲作経営として北海道一の経営規模を誇っています。

後継者も多く

最近は大消費地の札幌市に隣接している事から、高収益作物である野菜・花卉などの都市近郊型の農業になつてきています。

南幌町では、子育て支援対策の一環として子どもの健やかな成長を願い、次世代を担う0歳から中学生まで、子ども一人につき安全安心な町内産米10kg支給しています。このように、町内産米を支給することにより食育や地産地消の推進を図っています。また、妊婦検診への取組

を行う等町独自の対策を推進してまいりました。

地方共通の問題である人口減少対策では、住宅団地の造成や分譲を行うなどの定住促進や、工業団地造成による積極的な企業誘致等に努めており、活力ある自立のまちづくりが進められておりました。



びらとり J A平取町農業視察

トマトのブランド化で高生産額

7月9日、JA平取町野菜直売所及びトマト選果場について視察研修しました。

直売所としてはそれほど大きくなく広い北海道のイメージからすると意外な感じでした。トマト、メロン、スイートコーン、じゃがいもなどの農産物を箱売りで地方発送する販売が主力でした。

トマト栽培は昭和46年に6戸の農家で始まり現在では164戸、115㌥、販売額31億3千万円とすばらしい実績を残しています。昭和57年に共同選果施設を建設。61年には「ニシパの恋人」とネーミング、トマトの加工品の生産を始める。ブランド化のための「ニシパの恋人」というネーミングはインパクトがあり1度聞いただけで忘れなれど感じました。



茨城県城里町議会来村

7月23日、茨城県城里町の議会運営委員8名が来村し、議会運営についての勉強会と意見交換会を行いました。

城里町は平成17年2月に1町2村が合併して、人口2万3千人の町が誕生しました。

町の面積の約60%が森林で、那珂川沿いに開けた沖積平野は農地、宅地、工業団地等に利用されています。

議会は18名で構成され、合併後の新しい町づくりが進められているそうです。議会の活性化等について多くの意見が出され、意義ある交流ができました。

の意見が出され大変有意義な交流ができました。

福島県平田村議会議員来村

9月30日、福島県平田村議会議員10名が来村し、村の財政や村づくり、農業振興等について行政視察を行いました。

平田村は人口約7,100人、面積93.53km²、農地面積1,974ha、山林5,868ha、平成19年度一般会計決算額36億7,500万円・財政力指数0.29、「元氣いっぱい・夢いっぱい希望の持てる村づくり」をスローガンに掲げ自立した村づくりを行っており、人口や財政規模など昭和村と類似している所が多くある村です。

昭和村の財政状況や自立の村づくり、また活力ある農業の現状など説明した後意見交換を行いました。平田村の農業は米作中心であり、高齢化と耕作放棄地の増加等農業振興に苦慮しているそうです。



横浜市、取手市を視察

8月8日・9日の両日、議員全員で取手市及び横浜視察を行いました。

取手市では赤羽議長を始め14名の議員、藤井市長さん他多くの職員の出席をいただき、市村の現状と問題点等が定義され活発な意見交換が行われました。

横浜市においては「開港博Y150」の視察を行い、横浜視察の斉藤議員に同行していただき情報交換を行いました。

災害時相互援助協定を結んでいる両市を訪問し、お互いに理解を深め、より良い関係を構築していくため、今回の訪問は大変有意義なものでありました。



9
追跡
シリーズ

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

望郷ライン上3か所の交差点に信号機設置

要望

望郷ラインは村内を横断する幹線道路として平成15年度に完成しました。そして、関越自動車道昭和ICへの接続道路として村内外の多くのドライバーの利用による交通量の増加から、村の主要道路の一つとなっております。

また、望郷ライン上には、幹線道路三本が交差しており、村内外の利用者の増加から交通事故の危険性も年々増し、利用者から不安を感じる声が多く寄せられていました。

そこで、村では群馬県公安委員会に対し、交通事故を未然に防止するため、また、利用者が安心して通行できるよう、交通量の多い望郷ライン上の3か所の交差点に信号機の設置を要望していました。

その後

沼田警察署を始めとし、群馬県公安委員会のご理解により、要望していた3か所の交差点に信号機の設置が決まりました。設置される場所は、追分交差点、赤谷交差点、赤城原交差点の3か所です。設置時期は未定ですが、群馬県公安委員会により今後設置されます。



地域でがんばる人

森下八木節保存会

真下 亀作さん（森下中組）

小さい頃から豊年踊りを見ていて、櫓の上で八木節を歌っている安さんは、人の前で歌うのが恥ずかしくないのかなー、すごいなーと思って見ていました。今、自分が櫓の上で歌っているとは夢にも思っていませんでした。



お祭りも以前は櫓久保の保存会に世話になっていましたが、櫓久保の保存会の新木君に、森下で覚えてやらないと

手伝いをしないとと言われて、森下の有志を集めて平成13年頃から習い始めました。今年で8年目になり、櫓の下の踊り子さんにも迷惑を掛けなくなってきたかと思っています。

昨年、コミュニティ資金を世話になり、道具も新しくなりました。昭和中の運動会で傘踊りをする事になり、一節うなつて5年目になります。今後も後継者を育てながら伝統あるお祭りを続けたいと思っています。



秋の健康ちよつとレシピ

材料(2人分)

サンマ…1尾(160g)、生椎茸…2個(20g)、しめじ…100g、エリンギ…1本(60g)、水菜…40g、かつお節…1袋(3g)

A 塩・こしょう…各少々、酒…小さじ2

B ポン酢…小さじ2、醤油…小さじ2

作り方

- ①椎茸は千切り、エリンギと水菜は3cm長さに切り、しめじは小房に分ける。
- ②サンマは半分に切って開いてから、グリルで焼く。
- ③耐熱皿にきのこ、Aを入れラップをして、レンジで1分くらい加熱をする。
- ④ボールに③のむし汁、Bをまぜ、きのこ、水菜を入れて器に盛り、サンマをのせる。



焼きサンマときのこのおから和え

ワンポイントアドバイス

・お好みでゴマや、七味をふってください。サンマの代わりに鮭を使っても美味しいです。

栄養価(1人分)

熱量…290kcal、たんぱく質…19.9g、脂質…20.2g、カルシウム…72g、鉄分…2.1mg、塩分…1.7g

編集室から

暑さ寒さも彼岸までと言うが、この所めつきり秋めいて朝晩は涼しさを通り越して肌寒さを感じる。いよいよ実りの秋である。

8月と9月にNHKの「鶴瓶の家族に乾杯」で昭和村が放映され、広々とした農地で野菜の収穫やこんにやくの植え付けなど、テレビから見た昭和村が誇らしく感じた。多勢の人がわくわくしながらテレビに釘付けになり、見入ったことと思う。この様に昭和村がPRできたことは嬉しい限りであるとともに、これをきっかけに村外から興味を持って訪れてくれることを期待したい。

今年も残りわずかになり、新型インフルエンザ等の心配もあるが健康に暮らせることを願っている。

真下明雄 記

議会広報編集特別委員会

委員長 倉澤 俊雄

副委員長 真下 明雄

委員

高橋 昇三 横坂 先夫

治田 貞賢 中里 信幸

金井 正夫 金子松二郎